

2025年6月30日

各 位

会 社 名 夢 展 望 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 津 田 茂 寿
(コード：3185 東証グロース市場)
問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 管 理 本 部 長 今 浦 史 尊
(TEL. 072-761-9293)

上場維持基準への適合に向けた計画（改善期間入り）に基づく進捗状況について

当社は、2024年6月28日に、東京証券取引所グロース市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2025年3月31日時点（以下「基準日」という。）における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の基準日時点における東京証券取引所グロース市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、下表のとおりとなっており、2024年3月31日時点で、株主数基準、流通株式数基準、流通株式時価総額基準及び流通株式比率等基準については適合しておりましたが、時価総額基準については適合しておらず改善期間入りしており、基準日時点においても、時価総額基準については適合基準を充たしておりません。下表のとおり、時価総額基準に関しては2026年3月31日までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取組を進めてまいります。なお、2026年3月31日までの改善期間内に基準に適合しない場合には、6か月の監理銘柄又は整理銘柄指定期間を経て、2026年10月1日に当社株式は上場廃止となる可能性があります。

		株主数 (名)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (百万円)	流通株式 比率 (%)	時価総額 (百万円)	純資産の額
当社の 適合状況 及び その推移	2024年 3月末 時点	8,896名 (適合)	63,071単位 (適合)	1,066百万円 (適合)	42.81% (適合)	2,492百万円 (不適合)	正 (適合)
	2025年 3月末 時点	11,903名 (適合)	99,616単位 (適合)	1,634百万円 (適合)	54.32% (適合)	3,008百万円 (不適合)	正 (適合)
上場維持基準		150名以上	1,000単位 以上	500百万円	25%以上	4,000百万円	正
計画書に記載の事項						記載	
計画期間		—	—	—	—	2026年3月末	—

※当社の適合状況は、株式会社東京証券取引所が当社の基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等に基づいて算出を行ったものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価（2024 年 4 月～2025 年 3 月）

（1）取組の実施状況

当社は、「時価総額の向上」を基本方針とし、前年度より着手した異業種コラボレーションの展開、海外事業の拡大、ならびにコスト構造改革を本年度は通期を通じて継続・強化してまいりました。あわせて、連結子会社であるナラカミーチェジャパン株式会社および株式会社トレセンテにおいても、店舗運営や商品供給体制の見直しを進め、より効率的な事業運営体制の構築を図っております。これらの施策を通じて業績の向上および安定化を図り、「株価（企業価値）」の改善をもって上場維持基準への適合を目指してまいりました。

（2）取組に対する評価

収益構造改革の成果は一部に顕在化しており、2025 年 3 月期第 4 四半期には黒字転換を達成するなど、業績回復に向けた進展が見られております。さらに、ブランド認知の向上や海外売上積み上げといった非財務面でも一定の成果が確認されており、これまでの取組みは概ね計画どおり進捗しているものと評価しております。今後も既存施策の推進および情報発信の強化を通じて、時価総額の向上に向けた取組を着実に推進してまいります。

なお、経過措置について、2025 年 3 月 1 日以後に到来する上場維持基準の判定に関する基準日から本来の上場維持基準を適用する旨が株式会社東京証券取引所より示されたことを踏まえ、当該基準日までに上場維持基準に適合するため、計画期間を 2026 年 3 月末としております。

3. 上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

（1）課題

時価総額が基準値を下回っている理由につきましては、当社グループの業績が安定的かつ持続的な成長に至っていないことが主な要因であると認識しております。前連結会計年度においては、海外展開の強化、販売費及び一般管理費の削減、資金調達による財務基盤の強化等に取り組んでまいりましたが、売上および利益の面において一定の成果はございましたが、十分な成果を上げるには至りませんでした。また、当社の事業内容や強み、成長可能性等に関する情報発信が十分でなかったことにより、株式市場における当社の評価が低迷したものと考えております。

（2）取組内容

2025 年 5 月 30 日に公表いたしました、「事業計画及び成長可能性に関する事項」を併せてご参照下さい。

① 株価（企業価値）

当社は、企業価値の向上に向け、異業種コラボの強化、海外展開の本格化、SNS を活用したマーケティングの強化を成長戦略の柱として取り組んでおります。異業種コラボレーションでは、前期に実施した人気キャラクターとの協業に続き、今期も複数の取り組みを予定しており、自社 EC サイトへの集客力の向上を図っております。海外展開については、中国向け越境 EC を起点に売上を積み上げており、当社グループの成長ドライバーとして、引き続き注力してまいります。更に、中国国内での販売網の拡大も視野にしております。SNS を活用したマーケティング強化においては、Instagram や TikTok 等の主要プラットフォームを通じたライブ配信・動画投稿の頻度を高めるとともに、各チャネルの特性に応じたコンテンツを戦略的に配信することで、ブランド認知の向上および購買意欲の喚起を図っております。今後、TikTok でのライブ配信での取組も強化して参ります。連結子会社のナラカミーチェジャパン株式会社は、仕入先の柔軟化を活かした在庫最適化および収益性の改善に取り組むとともに、ブラン

ディング戦略の刷新、店舗のスクラップ&ビルドおよびEC システムの更新による業務効率化を推進してまいります。連結子会社の株式会社トレセンテは、出店戦略の見直しおよびスクラップ&ビルドを通じた店舗ポートフォリオの最適化により、持続的な成長基盤の構築を図っております。その中で、主力ブランドの強化および顧客 LTV（ライフタイムバリュー）の最大化と、別軸での新たなバリューの創出に取り組んでまいります。これらの取組を積み上げることで、いち早く業績を回復させ、企業価値の向上を図ってまいります。

② I R活動の強化

当社は適時開示以外にもプレスリリース等における任意的な企業情報の開示を行うことで、I R活動及びP R活動の推進を行っております。今後につきましては、今まで以上にI R活動及びP R活動を推進し、当社の事業内容、強みを含めた成長性、将来性の理解を深めるための情報発信を積極的に取り組んでまいります。

以上